## 学力向上を図るための全体計画

#### 関連法規

日本国憲法 教育基本法 学校教育法 学習指導要領 東京都教育委員会教育目標 練馬区教育委員会教育目標

### 本校の教育目標

多様性の時代に、主体性と寛容性を併せもち、他者と力を 合わせてよりよい社会を創る人

- ① 自分と他者を共に認める人
- ② 自ら学び、社会で生かせる人
- ③ 自他の健康を考え、実践する人

### 学習・学力からみた学校や 地域の実態

地域の教育力を基盤として落ち着 いた学習環境が保障され、おおむね 素直な姿勢で学習に取り組み、基礎 学力が十分定着している。



### 学校経営計画より 【基礎学力の定着と向上のために】

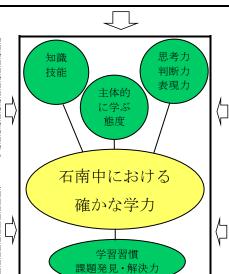
- ①授業時数の確保 ②校内研究授業・校内研修の活性化 ③指導方法の工夫・改善のための授業アンケート実施
- ④学力向上支援講師導入 ⑤放課後・長期休業期間中の学力補充教室の充実 ⑥言語活動の充実(読書活動の推進)
- ⑦タブレットの積極的な活用

#### 各教科の指導の重点

- ・基礎的、基本的な内容の定着と、思考力、 判断力、表現力等の発展的な内容の定着
- 言語活動の充実
- ・放課後や長期休業中の学力補充教室を活用した個に応じた指導の徹底
- ・ I C T の積極的な活用
- ・適正な評価・評定の実施

# 総合的な学習の時間の指導の重点

- ・課題発見・解決型の学習活動による主体的に学ぶ姿勢の育成
- ・職場体験をはじめとする体験的な学習を 通した社会貢献意識などの社会性の育成



特別の教科 道徳の指導の重点

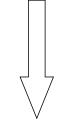
- ・考えを議論する活動を通して、道徳的な 判断や心情、実践意欲と態度を育成する指 導の充実
- ・道徳教育推進教員を中心とした全校的な 取組体制
  - ・道徳授業地区公開講座を活用した家庭や 地域との連携

### 特別活動の指導の重点

- ・豊かな社会性と人間としての生き方の自 覚を高めさせるためのよりよい集団活動
- ・生徒相互の自主的、実践的な態度を育成 するための体験活動の全校的な取組

## キャリア教育の指導の重点

- ・自らの生き方を自らが決定できる基盤となる 能力の育成
- ・体験学習を通した望ましい職業観や勤労観の 養成
- ・進路に関する適切な進路指導
- ・3年間の系統的・計画的な全体計画に基づい た実施



## 生活指導の指導の重点

- ・生命の大切さの意識、人権意識、規範意識の 向上
- ・いじめの根絶に向けた全校での取組
- ・家庭や地域との協力・連携による、基本的な 生活習慣と学習習慣の育成
- ・実態把握とトラブルの早期解決のための組織 的対応および関係機関との協力体制の確立
- ・事故防止や危険回避能力、自治能力の育成

授業改善に向けた視点					
指導内容・指導方法の工夫	教育課程編成上の工夫	校内における研究や研修 の工夫	評価活動の工夫	家庭や地域社会との連携 の工夫	
・基礎的・基本的な内容の 定着 ・思考力、判断力、表現力 の定着 ・言語活動の充実 ・補充教室の実施 ・9年間を通して身に付け させたい力の定着と向上	実 ・小学校との年間行事等の 日程調整および互いに学 び合う場の設定	いた重点の設定 ・9年間を見通したカリキ ュラムに基づく授業	・評価に関する研修 ・通知表書式の見直し ・保護者・生徒へ向けた年 度当初の評価規準の説明 と周知	・家庭や地域と連携した総合学習の推進 ・基本的な生活習慣や学習習慣の定着 ・関係機関との連携・協力 ・児童と生徒との交流の機会の設定 ・9年間を見通した家庭学習の定着	





### 授業改善の検証

・定期考査 ・生徒による授業評価 ・保護者アンケート・学校関係者評価 ・各種学力調査 ・生徒観察

	課題分析	授業改善策
	・学習の課題に対して、文章や発言で自分の考えを	・書く機会を増やし、文章を構成する力や表現力を
国	まとめることに課題がある。	鍛え、さらに考えを発言する機会を増やす。
語	・社会生活の中から課題を決め、多様な方法で材料	・認識の観点の多様性を発見させるような課題を設
	を集めながら考えをまとめることに課題がある。	定し、思考力や発信力を高める必要がある。 
	・文献、年表、地図等の資料の活用能力に課題があ	・随時資料集や地図帳を確認する作業を設け、事象
1.1	る。	の背景や結果などについて確認することで、理解を
社	・課題に対して自分の意見を全体に表現できる生	深めていく。
会	徒とできない生徒の二極化が生じている。	・グループワークで意見を述べる機会を増やし、思
		考力や表現力を高めていく
	・既習事項を使って様々な問題を解くといった数	・授業の中で学習した内容が、他の単元や問題とど
	学的な思考力・判断力・表現力に課題がある。	のようにつながっていくかを、様々な問題を通して
数	・数や図形の性質を証明する分野において、できる	   生徒に気付かせ、解き方を理解できるようにしてい
学	生徒とできない生徒の二極化になっている。	<
		│ │・用語や定義・定理といった知識を定着させ、証明の
		   流れやパターンを理解させていく。
	・実験データの分析に関して、その方法を基本から	・実験や観察のまとめの時間を充分に取り、規則性
	説明しグラフの見方やデータ処理などの理解力を	   に気付かせる時間をできるだけ作る。
理	育成することに課題がある。	・データ処理の計算は自分でできるような習慣を身
科	・実験の基本操作の定着に課題がある。	に付けさせる。
	・考察の記述に課題がある。	・個々の考察を肯定的に取り上げ、そこから規則性
		を導き出すよう指導する。
	・音や音楽を、音楽を形作っている要素とその働き	<ul><li>▶ 音楽的な見方・考え方を働かせることができるよ</li></ul>
	の視点で捉え、捉えたことと、自己のイメージや感	  うな場面設定や発問など、言葉によるコミュニケー
音	情、生活や社会、伝統や文化などと関連付けて考え	ションを適切に位置付けることによって、音や音楽
楽	る力に個人差がある。	によるコミュニケーションを充実させる。
714	・歌唱表現の技能が充分に身に付いていない。	・発声練習を工夫し、どの題材でも歌唱活動を取り
		入れる。
	・発想面では、思いついたことを形にしたり、発展	・イメージを広げるための資料の活用や鑑賞活動を
美	的に広げることに慣れない生徒もいる。	取り入れ、発想段階の指導の充実を図る。
	・制作経験が少なく、創作の意図と基本的な造形力	・様々な素材に触れる題材の設定により、素材の特
術	が結び付かないことがある。	性を理解させ、制作経験の幅を広げる。
	N→ND ○   1   N→マ ∧ ・	1上で产生が中でで、  四十下作品がソノ甲目で方() の。
	・積極的に取り組む生徒は多いが、基礎体力が低く	・体を動かす機会と、球技ではゲームライクの活動
保	技術の習得に時間がかかる。	を増やすことで、技能の習得と生涯スポーツや運動
	・安全に留意しながらのゲーム、審判への関わりや	に親しむ観点を身に付けさせる。
健	準備、片付けなど自主的な姿勢が課題である。	・スポーツへの関わり方を学習させるとともに、自発的
体	・話し合い活動の時間を充分に確保できず、意見や	な活動につながるよう個人の達成目標を考えさせる。
育	感覚を共有する機会が必要である。	│  ・他人に関心をもたせ、意見交換をする場面を増やし、
		仲間と親しむとともに、自己の課題を振り返らせる。
		,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,

・試行錯誤しながら根気よく問題を解決していく ・学習意欲を高めていくために、生徒個人の問題解 技 ことの経験が少ない生徒が多い。 決や課題設定の時間を充実させる。 ・自分で「考えること」や「創意工夫をすること」 ・実習で創意工夫ができる題材を設定する。 ・得た知識を作業などで生かし、どうすれば問題解 に、課題が見られる。 庭 ・普段の生活で生徒のものづくりに対しての知識 決ができるか考える場面や生徒同士の学び合いの場 や実践が少なく、技能面での向上に課題がある。 面を設定する。 ・パフォーマンステスト、スピーチ、プレゼンテーシ ・コミュニケーションや表現活動への意欲が二極 ョンなどを通して表現活動への抵抗感がなくなるよ 化している。 外 うにする。 ・長文読解や自由英作文など、英語を英語のまま理 玉 解したり、英語で表現する活動に苦手意識をもった ・日頃から長文を読む機会を多く取り入れる。また、 語 りする生徒が見られる。 Classroom で課題のやり取りを行い、英文を書く機 会を多く提供する。